



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月6日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東
 コード番号 7408 URL <https://www.jamco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 後藤 健太郎 (TEL) 042-503-9145
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	18,762	△15.2	394	△72.9	110	△93.1	58	△94.0
2019年3月期第1四半期	22,117	25.1	1,456	—	1,609	—	981	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △24百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 945百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	2.20	—
2019年3月期第1四半期	36.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	104,302	30,129	28.4
2019年3月期	102,980	30,715	29.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 29,603百万円 2019年3月期 30,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.0	20.0
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	25.0	25.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	92,100	9.6	4,310	△0.3	3,850	17.0	2,630	37.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	26,863,974株	2019年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	38,832株	2019年3月期	38,832株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	26,825,142株	2019年3月期1Q	26,825,212株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、米中貿易摩擦の激化や地政学的リスクの影響を受け、世界経済の減速懸念が高まり、ドル円為替相場は対米ドル円レート112円台前半から107円台前半の範囲で円高傾向に推移しました。

航空輸送業界では、格安航空会社(LCC)の攻勢による競争の激化が続いている一方、世界的な航空需要の拡大により、大手エアラインは新規運航路線の獲得や客室サービスの向上、LCCへの参画など様々な戦略を打ち出しています。航空機メーカーでは、一時的にはボーイング737MAX型機の運航停止の影響が懸念される状況にありますが、航空機需要の高まりを背景に、ボーイング、エアバス共に高水準の受注残機数を維持しており、一部機種を増産や燃費効率の向上を目指した新機種の開発が進むなど航空機市場は引き続き堅調に推移すると見込まれています。

こうしたなか当社グループでは、航空機内装品等製造関連・航空機シート等製造関連においては、2019年3月26日に公表しました不適切な品質事象に対して、一部の生産活動を停止し、是正・再発防止策を実施すると共に、より高いコンプライアンス・品質意識への変革を進めました。

一方、ボーイング777X型機向けラバトリー及びギャレー、KLMオランダ航空向けスタンダード・シートの出荷を開始すると共に、エア・ヨーロッパ航空向けスタンダード・シートの生産に着手しました。

航空機器等製造関連においては、生産性改善の取組みを進めると共に、これまで培った金属加工技術を生かし、内装品やシートの部品の内製化を開始しました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、伊丹支所を開設するなど、エアライン向け機体整備の拡大に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 18,762百万円(前年同四半期比 3,354百万円減)、営業利益 394百万円(前年同四半期比 1,062百万円減)、経常利益 110百万円(前年同四半期比 1,499百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 58百万円(前年同四半期比 922百万円減)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間末に第2四半期連結会計期間以降の完成工事に対する工事損失引当金を 3,452百万円計上しております。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第1四半期連結累計期間において売上原価 328百万円の減少(2019年3月期末の工事損失引当金は 3,781百万円)となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、販売手数料、保証工事費の減少などにより 2,102百万円(前年同四半期比 220百万円減)となりました。

営業外損益は、前連結会計年度末よりも為替相場が円高で推移し為替差損益が悪化したことなどにより 283百万円の損(前年同四半期は、153百万円の益)となりました。

特別損益は、品質関連損失などにより、41百万円の損(前年同四半期は、78百万円の損)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、不適切な品質事象への対応により、一時的に製品の出荷に遅延が発生しており前年同四半期に比べ売上高は減少しました。

又、経常利益については、売上高の減少による影響と前年同四半期において採算性の良いプログラムの出荷による反動や、一部プログラムの初期コスト増加による工事損失引当金を追加計上したことなどにより前年同四半期に比べ減少しました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 13,815百万円（前年同四半期比 1,073百万円減）、経常利益 112百万円（前年同四半期比 1,509百万円減）となりました。

[航空機シート等製造関連]

当事業では、生産委託先である株式会社宮崎ジャムコにおける不適切な品質事象への対応に伴う生産停止を受け、当社グループの他生産拠点への振替を行うなど影響を最小限に留めるよう努めましたが、一部プログラムの出荷が第2四半期連結会計期間以降に繰り延べられたことなどにより、前年同四半期に比べ売上高は減少しました。又、経常損益については、売上高の減少などにより経常損失となりました。

この結果、航空機シート等製造関連は、売上高 2,114百万円（前年同四半期比 2,645百万円減）、経常損失 28百万円（前年同四半期は、経常利益 5百万円）となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、航空機エンジン部品の出荷が減少したものの、熱交換器等装備品の出荷が増加したことにより、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。一方、経常損益については、売上高は増加したものの、航空機エンジン部品の生産効率低下などにより経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 1,347百万円（前年同四半期比 100百万円増）、経常損失 48百万円（前年同四半期は、経常利益 12百万円）となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、機体整備及び装備品整備が堅調に推移したことにより、前年同四半期に比べ売上高は増加し、経常損益は改善しました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 1,485百万円（前年同四半期比 263百万円増）、経常利益 76百万円（前年同四半期は、経常損失 32百万円）となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の株式会社オレンジジャムコの事業を含んでおり、航空機内装品等製造関連の補助作業等セグメント間の内部取引が中心で、順調に進めることができました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円（前年同四半期比 0百万円減）、経常損失 0百万円（前年同四半期は、経常利益 1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は104,302百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,321百万円増加しました。内、流動資産については、現金及び預金の減少(前期末比2,044百万円減)等がありましたが、仕掛品の増加(前期末比2,110百万円増)、原材料及び貯蔵品の増加(前期末比1,718百万円増)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ1,456百万円増加しました。又、固定資産については、当第1四半期連結累計期間の投資案件が比較的少なかったことから有形固定資産の減少(前期末比25百万円減)、無形固定資産の減少(前期末比111百万円減)により固定資産合計で前連結会計年度末に比べ134百万円減少しました。

負債合計は74,172百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,907百万円増加しました。主な要因は、未払法人税等の減少(前期末比1,304百万円減)等がありましたが、短期借入金の増加(前期末比2,183百万円増)、賞与引当金の増加(前期末比867百万円増)等によるものです。

純資産合計は30,129百万円となり、前連結会計年度末に比べ585百万円減少しました。主な要因は、配当金の支払などによる利益剰余金の減少(前期末比477百万円減)等によるものです。この結果、自己資本比率は28.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、2019年5月10日に公表した連結業績予想値に対して、航空機内装品等製造関連・航空機シート等製造関連における不適切な品質事象への対応により、一部製品の出荷に遅延が発生しており、第2四半期連結累計期間までは売上高減少などの一時的な影響が見込まれますが、注文の取り消し、大規模なリコールなどに発展するような事案は認められておらず、連結会計年度の業績予想に変更はありません。

なお、現時点において、連結業績予想の前提となる為替レートは105円/米ドルから変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,822,330	3,778,002
受取手形及び売掛金	22,571,490	21,033,655
商品及び製品	2,240,670	1,715,367
仕掛品	30,282,883	32,393,606
原材料及び貯蔵品	16,203,864	17,922,422
その他	3,484,320	5,221,031
貸倒引当金	△3,388	△5,708
流動資産合計	80,602,172	82,058,378
固定資産		
有形固定資産	13,988,321	13,962,439
無形固定資産	1,750,249	1,639,221
投資その他の資産	6,640,107	6,642,324
固定資産合計	22,378,679	22,243,985
資産合計	102,980,852	104,302,364
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,821,292	9,661,207
電子記録債務	8,910,255	8,856,761
短期借入金	17,404,112	19,587,343
1年内返済予定の長期借入金	2,300,000	1,600,000
未払法人税等	1,465,270	161,081
前受金	10,675,352	11,007,755
賞与引当金	1,696,645	2,563,945
工事損失引当金	3,781,190	3,452,675
品質関連損失引当金	67,817	-
その他	4,434,703	4,007,211
流動負債合計	59,556,639	60,897,983
固定負債		
長期借入金	3,700,000	4,100,000
退職給付に係る負債	7,070,783	7,067,613
損害補償損失引当金	921,541	918,910
その他	1,016,411	1,187,923
固定負債合計	12,708,736	13,274,446
負債合計	72,265,376	74,172,430

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,309,484	4,309,484
利益剰余金	20,413,755	19,936,170
自己株式	△30,968	△30,968
株主資本合計	30,052,165	29,574,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,007	128,851
繰延ヘッジ損益	50,597	148,320
為替換算調整勘定	121,844	△38,907
退職給付に係る調整累計額	△217,091	△209,456
その他の包括利益累計額合計	121,358	28,807
非支配株主持分	541,951	526,545
純資産合計	30,715,475	30,129,933
負債純資産合計	102,980,852	104,302,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	22,117,737	18,762,821
売上原価	18,337,383	16,265,199
売上総利益	3,780,353	2,497,621
販売費及び一般管理費	2,323,457	2,102,782
営業利益	1,456,896	394,839
営業外収益		
受取利息	7,317	11,019
受取配当金	3,272	3,948
為替差益	266,853	-
持分法による投資利益	7,283	-
受取保険金	-	20,000
助成金収入	47,557	53,437
その他	5,005	4,187
営業外収益合計	337,290	92,592
営業外費用		
支払利息	98,285	99,490
為替差損	-	202,568
持分法による投資損失	-	5,615
支払補償費	53,143	5,259
その他	32,770	63,567
営業外費用合計	184,200	376,501
経常利益	1,609,987	110,930
特別損失		
固定資産処分損	78,998	6,103
品質関連損失	-	35,335
特別損失合計	78,998	41,438
税金等調整前四半期純利益	1,530,988	69,491
法人税、住民税及び事業税	947,947	118,486
法人税等調整額	△356,004	△136,782
法人税等合計	591,943	△18,296
四半期純利益	939,044	87,788
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,461	28,870
親会社株主に帰属する四半期純利益	981,506	58,917

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	939,044	87,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,503	△37,156
繰延ヘッジ損益	△193,229	97,722
為替換算調整勘定	171,516	△180,348
退職給付に係る調整額	13,691	7,634
持分法適用会社に対する持分相当額	△506	-
その他の包括利益合計	5,975	△112,147
四半期包括利益	945,020	△24,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	966,411	△33,633
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,391	9,274

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結累計期間
(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間より国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,889,048	4,760,175	1,246,645	1,221,859	22,117,728	9	22,117,737
セグメント間の内部 売上高又は振替高	410,507	37,768	6,511	25,603	480,390	27,386	507,776
計	15,299,555	4,797,943	1,253,157	1,247,462	22,598,118	27,395	22,625,514
セグメント利益 又は損失(△)	1,622,761	5,989	12,432	△32,433	1,608,750	1,236	1,609,987

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,608,750
「その他」の区分の利益	1,236
四半期連結損益計算書の経常利益	1,609,987

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,815,314	2,114,458	1,347,409	1,485,636	18,762,818	2	18,762,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	167,142	35,190	6,788	22,851	231,972	27,524	259,496
計	13,982,456	2,149,648	1,354,197	1,508,488	18,994,791	27,526	19,022,318
セグメント利益 又は損失(△)	112,948	△28,865	△48,929	76,080	111,234	△303	110,930

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	111,234
「その他」の区分の利益	△303
四半期連結損益計算書の経常利益	110,930

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。